

いおろち
画楼の
三ツツツさん

上



うた=いぬ ゆね

ミオリさんが、 であったのは...?

夢の名残が 流れ着く
その果て どこかに、

へんてこ 絵描き
その名を

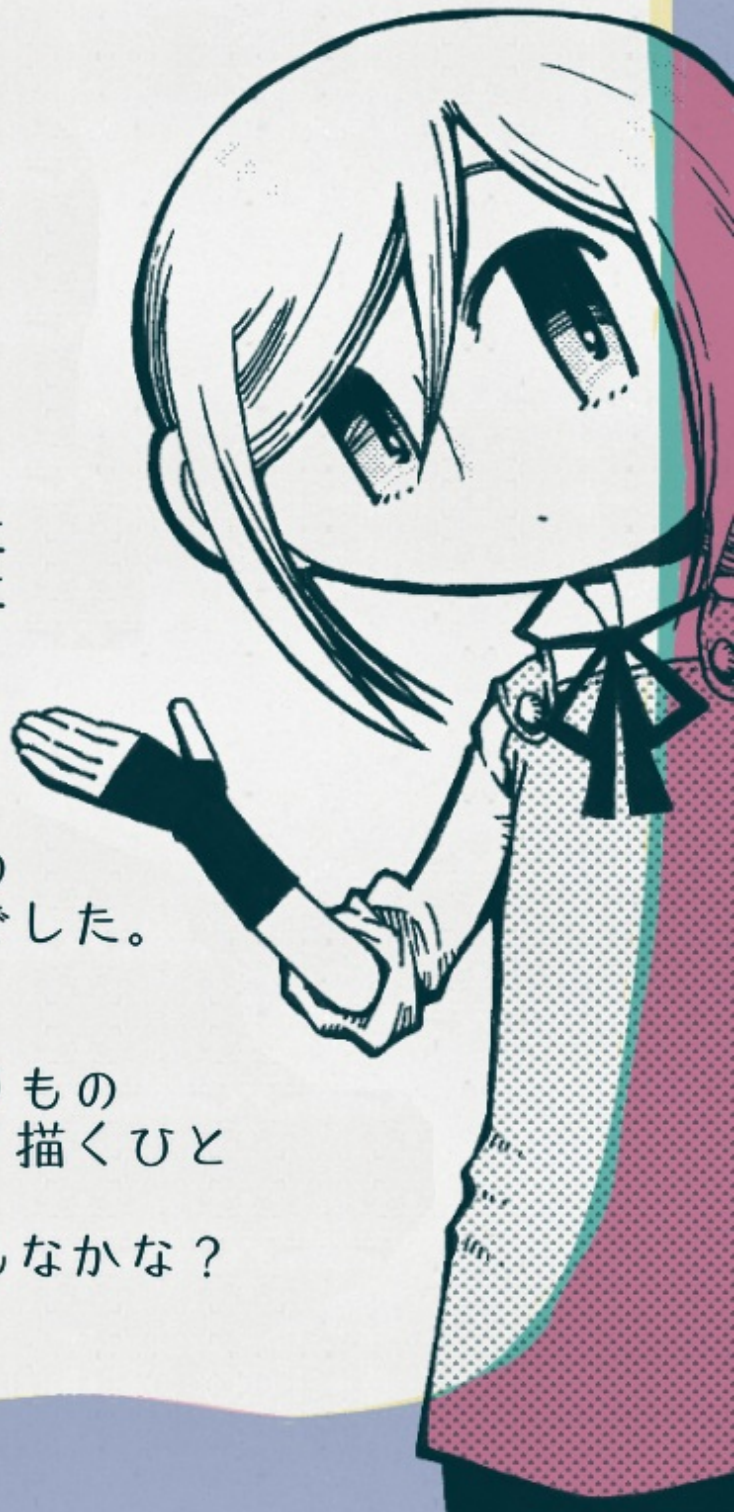
ぽつんと描く 一心に
指凍えさせ その奥に

おや、なにかな？

それが 画楼との
擬似だけど 家族との
はじまりの 出会いでした。

どこかすこし かわりもの
みえず みゆものを 描くひと

その歩み 日々 どんなかな？



- キャラダ -



← ミオリさん

おっとりした絵描き。
創作物に常におかしな
魔法が宿ってしまう。



← アウングさん

情熱的な色の精霊。
芸術をこよなく愛し、
画楼作りを思い立つ。



あと 113113













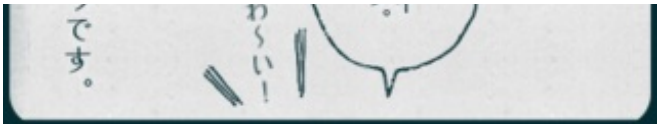


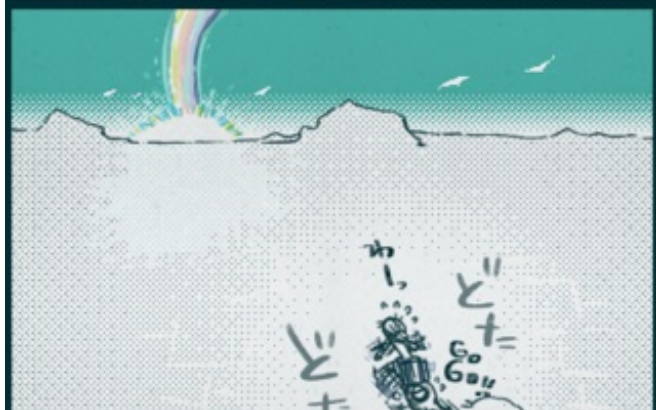
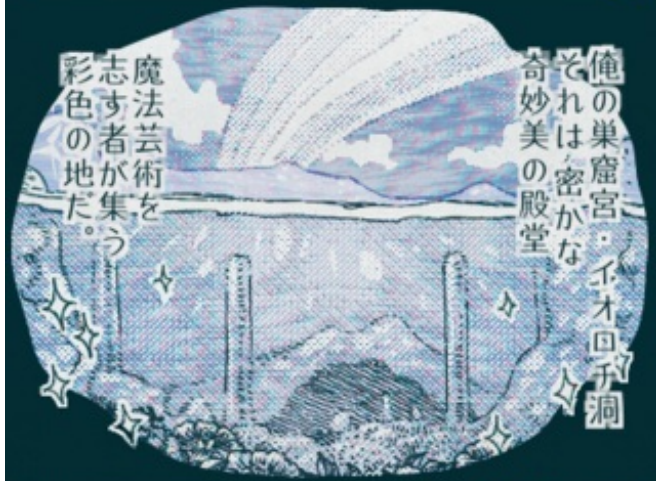


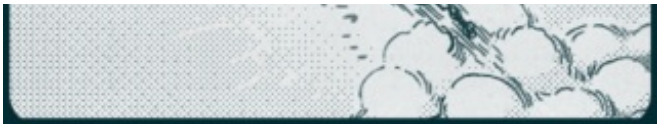




















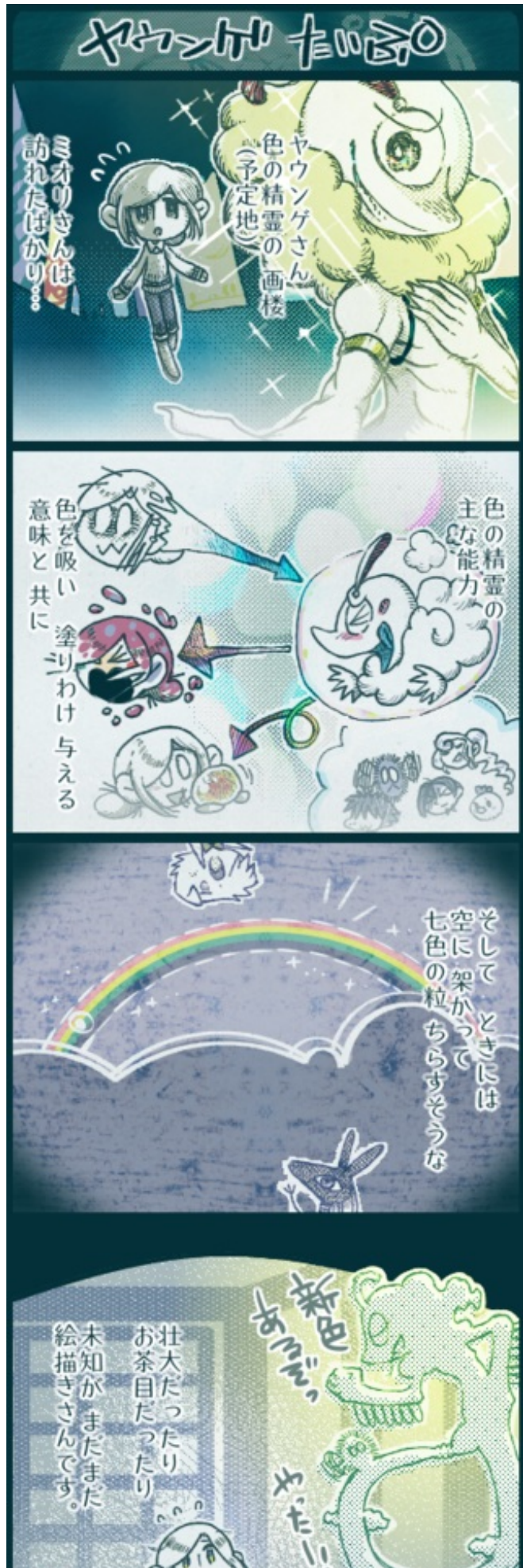


11月3日
画楼の
三ツリさん





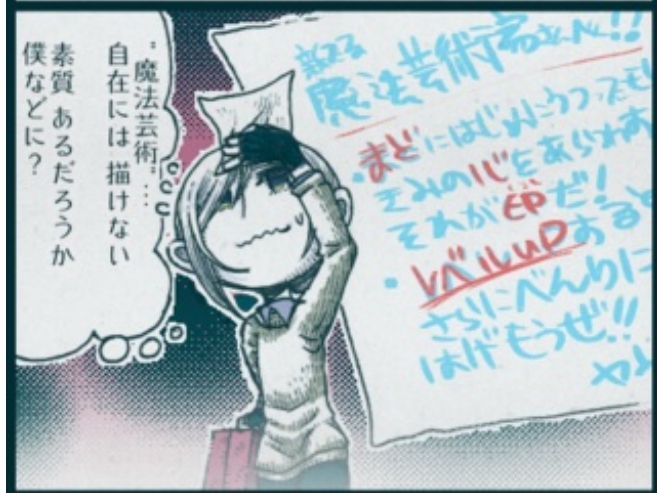
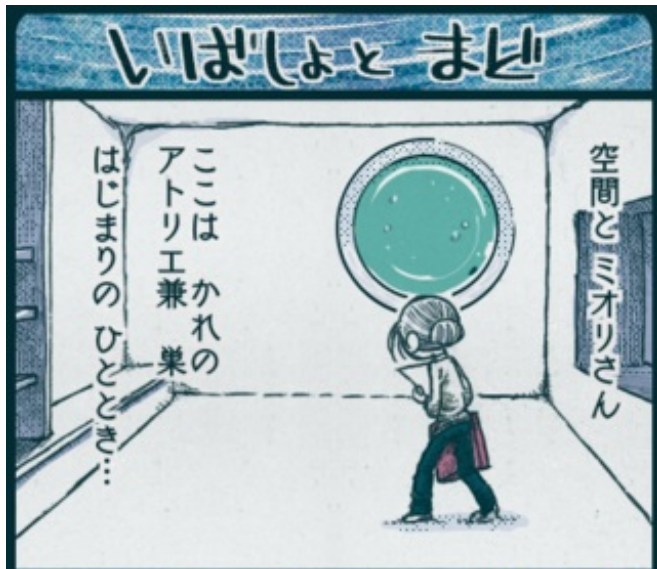










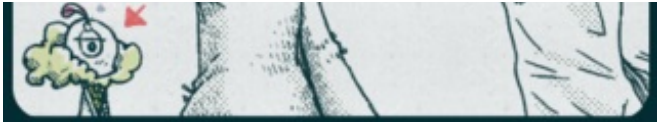




















いおち
画楼の
ミオリさん



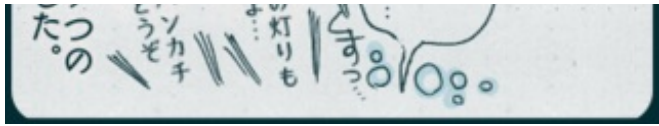












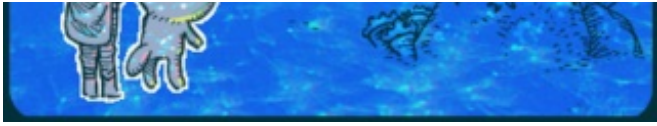












ミオのへんせん



色持たぬ民で唯一
色ある民の視力を得た子

驚きを伝えようとした
かぞくの姿
ふっと揮発した 静かな夜



2種族の謎の特性
残されたミオリさん

色がこわくも
思えてきたり

でも、なにか
描きたくて
まとまらなくて

静かな夜に
座っていました。



ひよんなことから、
いおろち画楼

新人さん、
魔法芸術家の
へんな日々



うっ
目に砂がっ…

おおお
よお!!









11月35日
画楼の
ミオリさん

















にわとひととき

ある日の画楼...

おーばーひーと
してきた...



おわ
ミオリか
いや驚いてなど
いないからな
俺は魔の民!



新しく出来た庭
不思議な庭
秘める庭

散歩冒険
できる庭に今日は
こんなのいました。

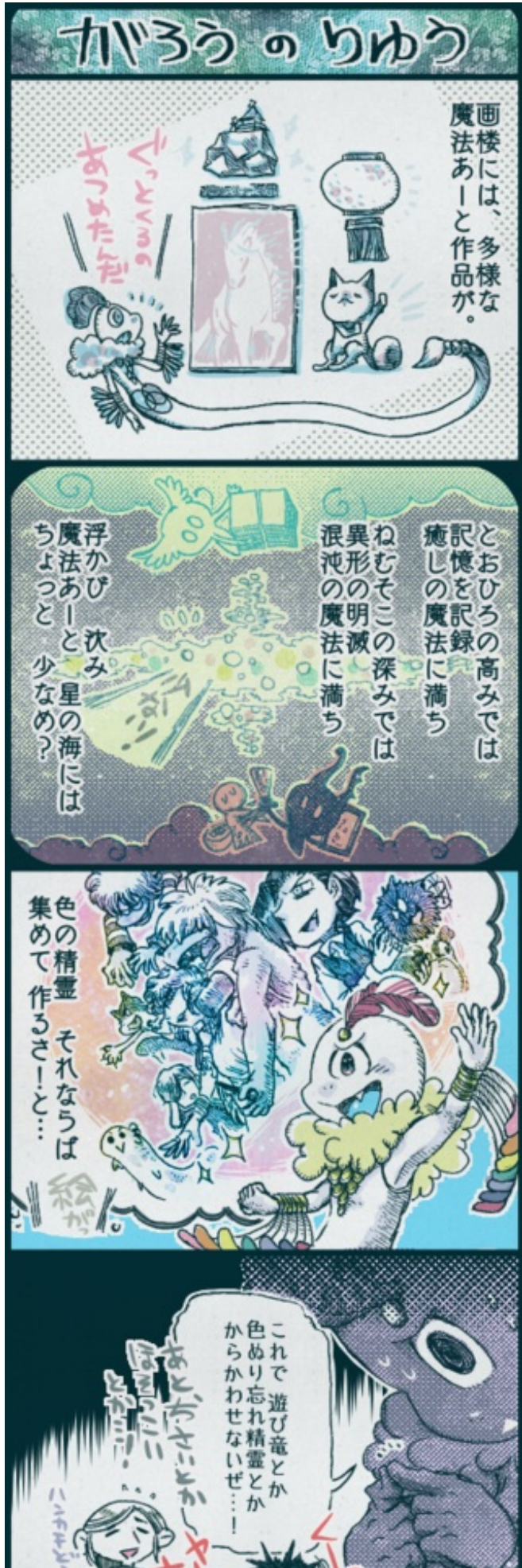


魔法の創作
そのあいま
作家ずめいめい
過ごしています。

クク
くわわわ
たままか!



















11月3日
画楼の
ミオリさん













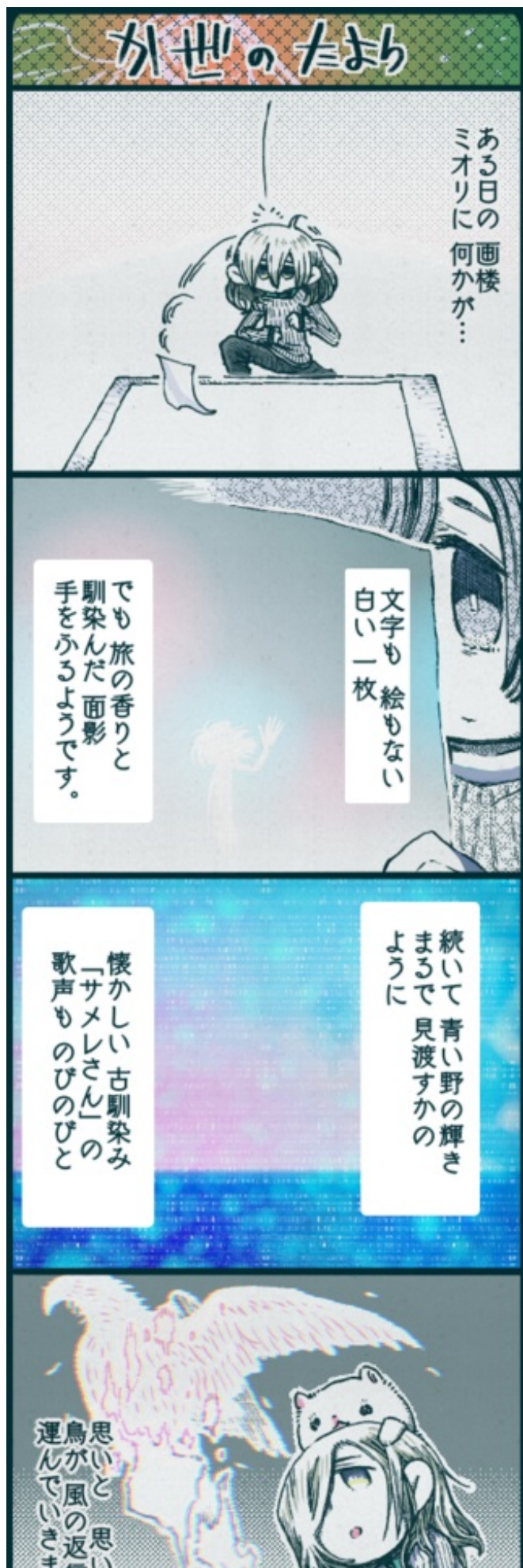














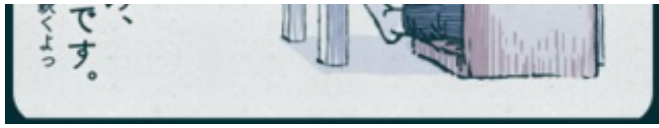














11月3日
画楼の
ミナリさん



けしきとめもりー

ある日の画楼
うつりかわる窓と
眺める魔法作家さん方…



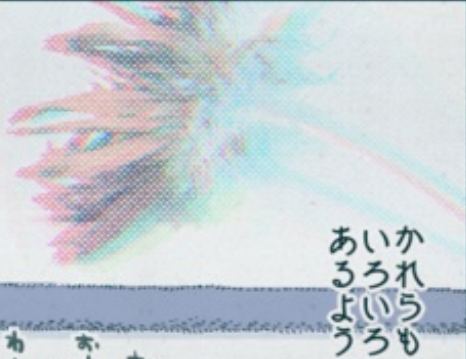
なんだか初心が
浮かんできたな…
随分反対されたんだ。



そうでしたか…
僕は画題と触れあい
散策をした日々が
浮かびました。



いろいろも
いろいろも









ニヤウンゲ

へんてことこか
小さな卵かえり

「だれかが名付けた
「ヤウンゲ」と



姿は仔の竜に似て
しかし誰もしらない
彼の力、象徴の意味を

彩色の竜群鮮やかに
鱗煌かせ、泡の遙かへ
夢奥生命、何かの象徴
それを秘めるのか…?



しかし彼は
震える夢の旅の果て
その意味に、目覚めた

夢奥の色、飲み干し
恩恵と大災いを表す
色源の大蛇精として…

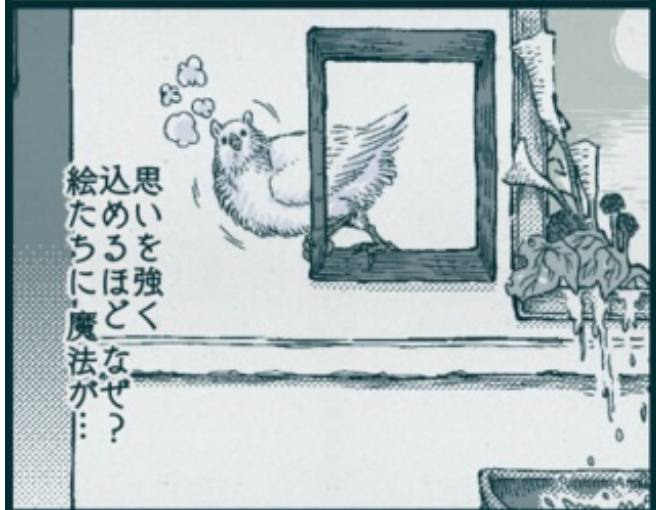
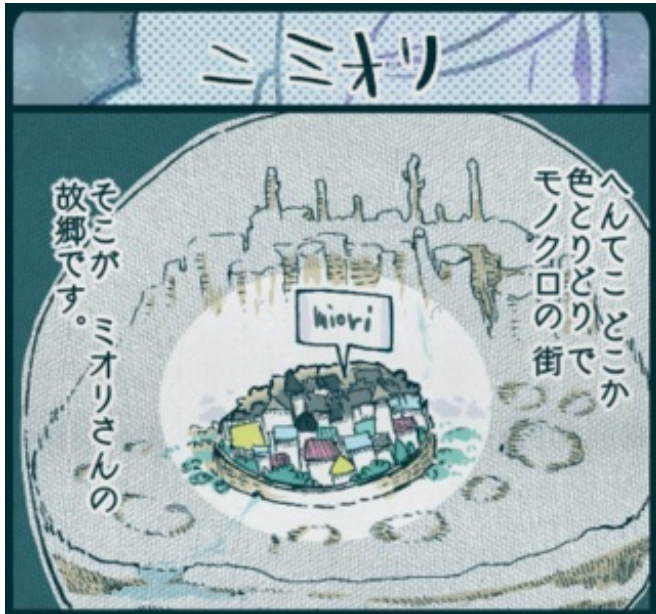


きつとあの頃
ミオリの星の色も…

ある日の画楼と
回想でした。

















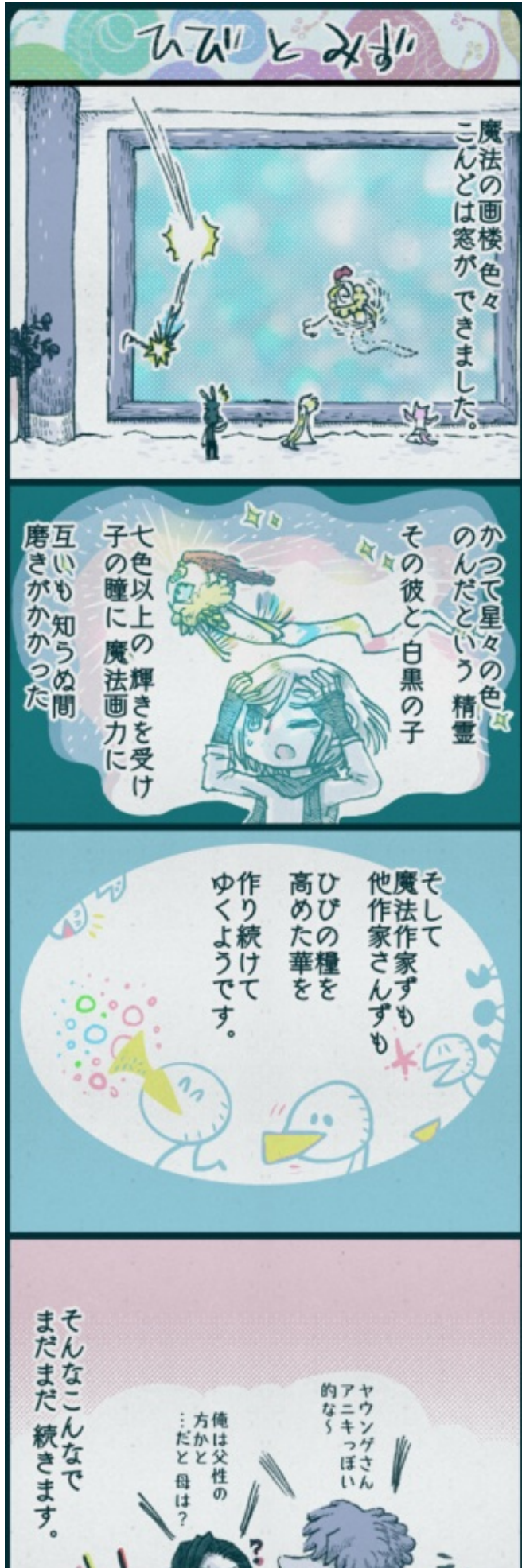






別染
かな？

とま
はや…





おまけ1. ミオリさん



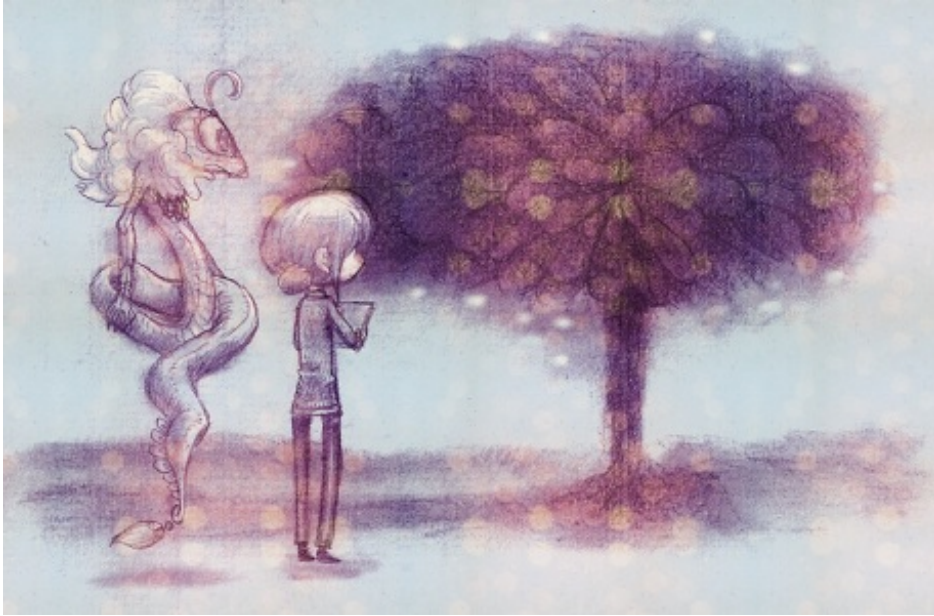
風になびく糸草と遡上する水族っぽさをなんとなくあわせもつ魔法画家さん。
古語や海外の言葉をとろかしつつ・混ぜてみつつ、数種類の意味を込めました。

力強さをあまり放出しないすたいる & 意識をしていないおにいさんですが、
描くことのなにかの魔法 いきづいているのかも しれません。
あと、ヘンテコ生物たちに好かれやすいという ぽいんつも...

ちなみに、作者のわしは もっと しょうもなくて がさつで 岩石&野犬さんのゆえ、
ミオリさんとはあまり似ていません。

ある日突然 体がすうっと 空気に溶けて 揮発していく
そうならない限りは 長い時の流れも ずっと生きる という種族のひとです。
魔法画力 色+不思議視力 魔物?の幼馴染・サメレくん

その諸々の向こうやいかに？



世界の物語を調べていて、どリーむ・たいむ というのを むかし知りました。

夢の中では 古来の無数の精霊がいまでも生きていて、様々な伝説を語ってくれる...
という ものでした。

その中で、虹のように鱗が輝く 精霊さんのお話があり、
恩恵やわざわざ、世界の色や人々をのみこんだり・命をうみだしたり いろいろ。
夢の奥にも たびたび 似たオカタ？がお散歩していたので、
今回のお話のあにきぶんの 設定の一粒に とかしてみました。

そしたら、あんまりへびっぽくないわりと脳筋な精霊さんになってしもうた...
でも、魔法作家たちへのアツい！想いは 大きいようです。

おまけ3. ミオリと魔法作家ず

1

ミオリ（以下ミ）：...しかし、あれよあれよというまに日々が...

あ、どうもこんにちは、ぼくはミオリといいます。

ヤウンゲ（以下ヤ）：いい挨拶だな！それよりさ、どうだい画楼！すごいだろーっ！？

ミ：そうですね...初めてです。アトリエと、庭園と 景色のうつり変わる窓と、展示回廊が皆の意をくみ 心あんしーな魔法で出来上がるとは。

ヤ：色の粒が俺を怖がるモンで、ポップな呼び声にしてみたのさ！

ミ：ああ、そうでしたか。でりけーと なんですね、色の粒。

ヴェスニル：（ちがう...つっこみどころはそこじゃねえ...）

2

セルアダ（以下セ）：はあい！果物だいすき服職妖精のセルアダだよ！

ヴェスニル（以下ベ）：...俺は詩の偶像の作り手・黒のヴェスニルだ。

セ：ていうか！ミオリあんた何あたいのヤウンゲさんを独り占めしてんだい！羽アタック！

ミ：あいたっ ああすみません 解説の段取りが...

ベ：ゴホン！ない。この画楼においてそんなものなどない。

ミ：でも、セルアダさんの装飾品や服 きりっとしていますね。

どんな種族も着られるのはいいなと、ヤウンゲさん おっしゃっていました。

セ：ぐはっ ヤウっ 賞賛～！まいっか～！

ベ：あーあ...

ミ：ヴェスニルさんの作品も、眠れぬ夜などに聴きに行くと心が静まります。

ベ：ぐがっ かっ あの... フム、そうかい。参考にしておくれ。

セ：（ぎりぎり ダーク紳士を保ったね...）

ヤ：ところでだな。サメレくんて、誰？

ミ：はい、ぼくの幼馴染のねむそこの魔族らしき子です。

セ：ん～妖精村ではおそろしー夢魔って聞いたんだけどなあ。

ミ：いやぁ怖いというよりおもしろい人です。たまに何かの魂吸いかけてたけど...

ヤ：おいおい、知らない魔法使いや精霊にはうんと気をつけるんだぞ！うんとな！

ミ：あはは、大丈夫ですよ。時々様々なものを砂に変えてしまうだけで...

セ：（おさななじみって、なんだったっけ？）

ベ：（夢魔...）

セ：おや、何を思い浮かべたのさ？

ミ：鮫ですか？

ベ：まあね！！

いおろち画楼のミオリさん 上

<http://p.booklog.jp/book/119368>

こんにちは、どうも。

2018年も もう半分、ミオリさんのまとめ本も 半分出ました。

つくることが、楽しい以外にも 支えになったり 癒しになったり
その反面 感いがあったり 難しかったり。

だれもが 到達するわけではなく でも だれもが つくり得る その中
魔法画楼の みなさん、どんな日々かな？

下巻は、2018年 11月末～12月始めごろup! の予定です。

それでは それまで、またこんど...

著者：謡犬 ユネ

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/yuneutainu/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/119368>

電子書籍プラットフォーム：パプー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社トゥ・ディファクト